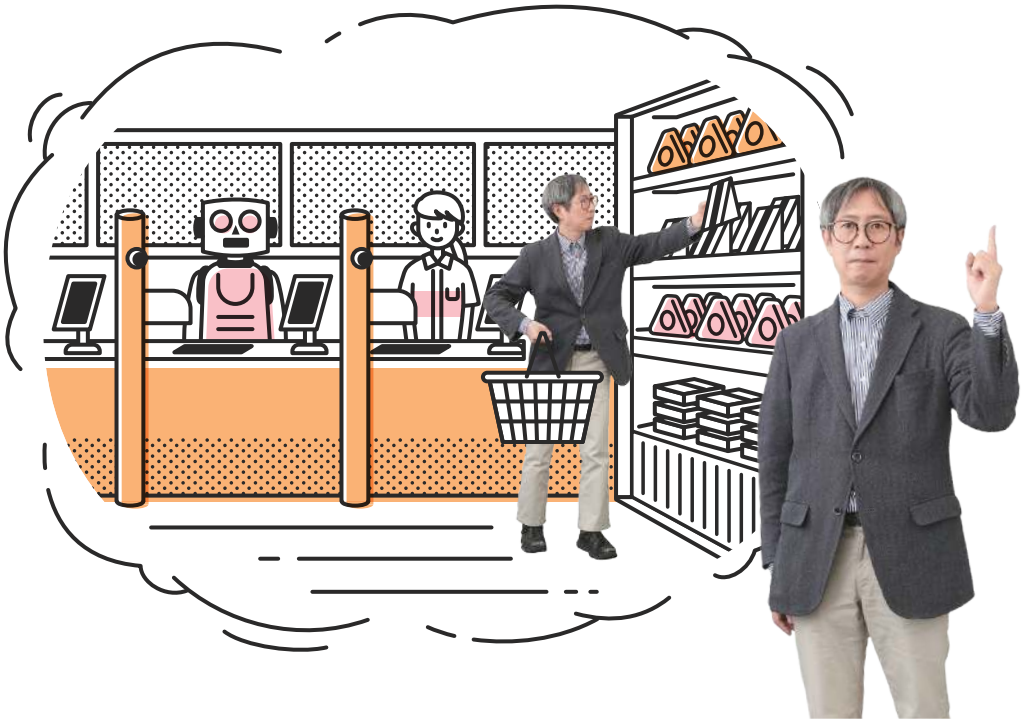
MEIJO Q&A

経営学部　国際経営学科

# Q 企業のIT活用に、大切なこととは？

## 大切なのは「どう使うか?」IT技術を上手く活用できる組織づくりが大切です。



### 企業活動はもちろん、私たちの暮らしに、もはやあたりまえとなりつつあるIT。

20世紀、インターネットの普及などにより、世界中で進んできたIT活用。もちろんIT技術は、AIやIoT、DX(デジタルトランスフォーメーション)など、日々進化し、新しいトレンドを生みだし続けているため、最新のIT技術の導入については、まだまだ対応していない企業も多いかもしれません。しかし、もはやまったくIT技術を活用していない企業を探すほうが難しいほど、ITは現代の企業活動に欠かせない技術になっています。私の専門である「経営情報学」は、「ITを利用した情報システムを、経営にいかに活用していくか」を研究する学問分野。現代の企業経営を分析するうえで、とても重要な分野です。

### IT技術は、上手に活用できる組織づくりがあってこそ!?

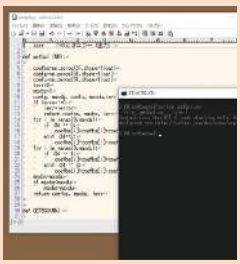
私は、これからの企業のIT活用について、「ITを経営資源と捉え、上手く活用できる組織づくり」を意識していくことが重要だと考えています。たとえばコンビニエンスストアの場合、IT活用が進む前は「発注業務は店長の仕事で、アルバイトは簡単なレジ打ち作業だけを担当する」という業務分担があたりまえでした。しかし近年、IT活用でだれでも簡単に発注業務ができるようになったため、アルバイトでも発注業務を担当するように。これにより逆に「ヒューマンエラーによる発注ミスが増える」「店長のカンや経験に頼った発注より確度が下がっている」などの事例もあがっています。猫に小判などというように、IT技術も「企業経営にどう使っていくか?」をしっかり考えることが大切です。

TEACHER'S PROFILE

**堀川 新吾 先生**
Horikawa Shingo

文系だったことや、親の薦めなどもあって大学は法学部に進学したのですが、プログラミングが好きで情報分野にも興味があったため、「経営情報学」を専攻することに。企業のIT化をはじめ、情報技術を導入する企業の経営戦略などについて研究しています。

マイブーム紹介



**自作プログラムが思い通りに動いた時の快感がたまらない。**

中学生のころから、プログラミングに熱中していました。当時はbasicやC言語でしたが、その後も独学でPythonを覚えるなど、プログラムの勉強を継続。今でも音声ノイズ除去プログラムなどを自作して、趣味として楽しんでいます。